

# 日本家系図学会 役員会報告

2015.7.27(月)

以下に、先日7月23日(木)午後4時30分～約1時間、開催された役員会の報告を申し上げます。

場所：渋谷の 同風会法律事務所会議室

参加者など：今回は平日夕方の開催ということで、結局、会長・岸副会長以下4名の出席となった。なお、連絡がなかった数名を除き、欠席者の多くからは委任の連絡を受けており、役員会は成立し、以下の議事も全て了承された。

概要は、次の通りです。

## 1 経理関係等の審議

大森事務局長代理から、平成26年度収支決算書、27年度収支見込書及び今後の見込みや、事務局が未納者などにとってきた対応などが提示・説明された。

概要としては、平成26年度は前年度とほぼ横ばい低下気味の数字で、今27年度もほぼ同様の見込みだが、今年もまた会費納入の実会員数が若干減少の動きもあって（納入会員数は90名弱、ここ最近の新規会員は3、4名）、この面は相変わらず予断を許せない面がある。まだ、会計監査を終えていない状況とのことで、これからの会計監査が問題なく終了することを条件に、上記案については役員会了承とされた。

役員の皆様には、別途、事務局から上記の関係経理書類をメール送付することになりますので、よろしく願いいたします。

今年度は、**役員の改選**時期ではありますが、新規役員及び役員昇進については、とくに該当者はいないということで、皆様に御支障なき限り、そのまま再任、継続ということでよろしく願いいたします。

## 2 本年度総会の手順など

日時：11/7(土)午後3時～5時

終了後に有志による懇談会：午後5時半～

場所：広尾の 東京神殿別館の礼拝堂

(例年の総会が開かれる会場と同じ。有栖川公園横の坂道の左側)

※今年はいつもとほぼ同じような日程であり、次の講演者などもふくめ役員に予めご連絡し、多数のご了解をえて進めてきたこともあって、上記、日程及び講師の件は了承された。いつものように9月中旬頃に、会員に対して総会のご案内通知を出す予定です。

## 3 講演の講演者 山田康弘氏に依頼することを確認した。

昨年の講師をしていただいた渡邊大門氏の御紹介・ご尽力もあって、今年は順調に決まることができました。

中世武家研究の専門家で、とくに足利将軍家の研究に造詣がふかいということで、講演テーマもこうした内容になると聞いております。『戦国期室町幕府と将軍』吉川弘文

館 2000; 『戦国時代の足利将軍』 吉川弘文館 歴史文化ライブラリー 2011、という書の刊行もあります。

## 5 その他

- 会員の増加がもうすこしあれば会の経営健全化の方向に進めるのだが、適宜、今後ともこれにつとめるとともに、女性会員なども含め、着実に勧誘活動をしていくしかないなど、意見交換が行われた。
- 昨年もあったが、会員ではない方で、かなり熱心すぎるほど事務局にしつこく架電がある人の問題があり、その見解もやや偏りがあって、必ずしも歴史研究とはいい難くところがあるので、対処に苦慮しているとの紹介があって、これは、会としてできることできないことを踏まえて、ほどほどに対応していかざるをえないとされた。
- **家紋の普及問題** 岸副会長から、最近の冠婚葬祭の簡便化で、日本の家から家紋が消えていく傾向が懸念され、カルタなど様々な手段を講じて、対応策とPRにつとめるべきことが強調された。適宜、本会の会誌などでも家紋を取り上げていくことになる。
- 沼津市の**高尾山古墳の保存問題**がいま取り上げられてきており（各種新聞やネット、昨7/26にはTBS系の「噂の東京マガジン」でも取り上げられた）、一度破壊したら、復旧は困難である貴重な文化財であることから、当会としても保存に向けての対応を考えて尽力していくこととした。

この関係の対応は、宝賀会長に任せるということで、適宜、活動していく予定です。保存にご賛同いただける方は、地元の沼津市で行われている署名活動にもご参加下さい。現状は、現在発売中の『週刊新潮』1915.7.30日号の巻末写真部部にも紹介されています。

この関係の会長からの説明は、次のアドレスをご覧ください。

<http://wwr2.ucom.ne.jp/hetoyc15/hitori/takaosan1.htm>

(以上) 文責：宝賀寿男